

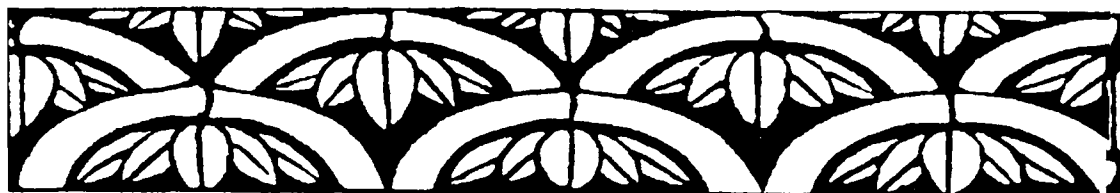


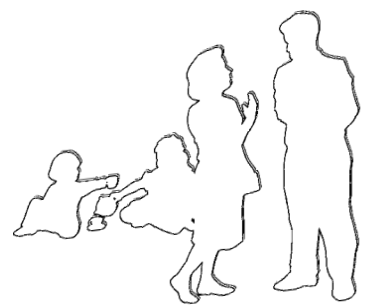
私たちのコミュニティーに必要な知識

前立腺がん



私たちのよりよい健康のために
アメリカがん協会





前立腺がんについて知られていることは？

- ・前立腺がんは今日の男性のがんの中では最も頻度が高いものです。
- ・毎年41,000人以上の男性が前立腺がんで亡くなっています。
前立腺がんの早期発見や治療方法の向上は、前立腺がんの男性の寿命をのばすことにつながります。
- ・もし前立腺がんが早期に発見された場合は、一般的に治療も効果的です。

前立腺とは何ですか？

精子運搬の役目を果たす液体を作る性腺です。

前立腺はどこにあるのでしょうか？

腸の前にあり膀胱から尿を運ぶ尿道を囲んでいます。

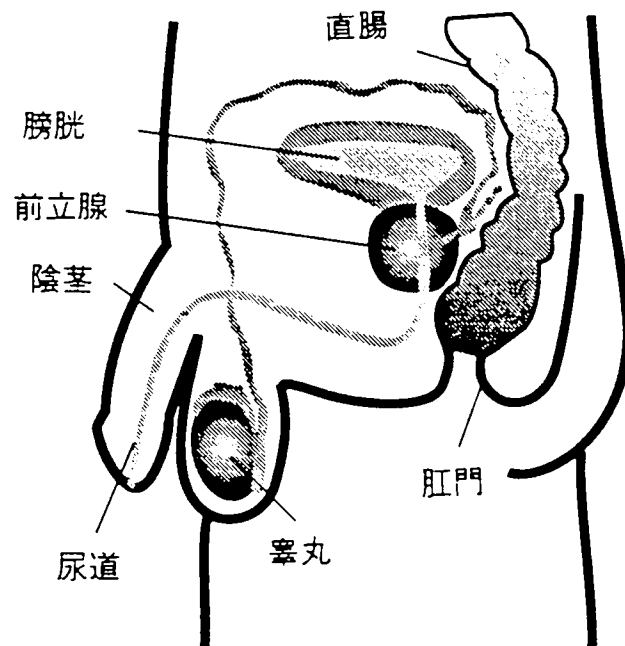


図. 1

誰が危険なのでしょうか？

すべての男性は前立腺がんになる危険があります！
もしあなたが次の項目に該当する場合、危険度はさらに高くなります。

- ・アフリカ系アメリカ人。
- ・65歳以上。
- ・脂肪の多い食品を多く食べている。
- ・溶接や電気メッキの作業に長期間携わったことがありカドミウムを取り扱ったことがある。
- ・家族に前立腺がんの人がいる。

前立腺がんにかかった男性のほとんどは危険因子のない人です。

あなたが男性であれば、前立腺がんになる危険があるということを覚えておきましょう。

前立腺がんの警告サインは何ですか？

多くの前立腺がんは警告サインがありませんが、下記のような問題のいずれでも該当する場合にはすぐに医師の診察を受けてください。

- ・ 排尿時、尿の流出が遅いあるいは途中でとぎれる。
- ・ 排尿の開始・停止が困難。
- ・ 排尿回数が多く、夜間頻尿がより顕著である。
- ・ 尿に血液が混じっている。
- ・ 排尿の際に痛みや不快感がある。
- ・ 腰、骨盤、大腿に痛みがある。

これらのいずれかの問題がある場合にはすぐに医師と相談してください。

どのように前立腺がんは見つかるのですか？

医師が直腸の触診をして指の感覚で前立腺がんを発見することができます。これを直腸診といいます。医師が血液を検査して、前立腺がんの徴候を見つけることもあります。これは血液中のPSA（prostate-specific antigen）を検査しています。

医師によるチェックをいつ受けるべきなのでしょう？

50歳以上の男性は毎年、医師による直腸診および血液中PSAの検査を受けましょう。

50歳以下の男性で、危険因子のある人は医師に前立腺がんについて相談してください。

前立腺がんがあるかもしれないと医師が考えた場合は？

もし医師が診察や血液検査で異常を発見した場合には、もうすこし詳しい検査が必要になります。これらはレントゲン検査や超音波検査、その他の血液検査です。前立腺の小部分を採取し顕微鏡で検査をすることが必要かもしれません。これを生検（バイオプシー）といいます。

もし医師に他の検査も勧められた場合には、必ず指定された日に医師の診察を受けてください。あなたは前立腺がんではないかもしれませんが、でもそのことを確認する必要があるのです。

もし検査で前立腺がんがあるとわかった場合は？

前立腺がんがあるとわかった場合は、医師はどうしたらよくなるかについて一番よい方法を話してくれるでしょう。前立腺がんの治療には手術やがんによく効く様々な薬の使用（化学療法）が挙げられると考えられます。

あなたと主治医があなたにとって何が最善かを決めることとなります。

前立腺がんが早期に発見されれば、最良の治療結果が得られます。

早期の前立腺がんには警告サインがない可能性があります。

定期的な前立腺の検診で、前立腺がんは早期に発見することができます。

あなたとあなたの健康は大切です！あなたは家族、友達、コミュニティーにとって大切な人なので前立腺の検診を定期的に受けましょう。

用語の説明

化学療法：Chemotherapy がん等の病気に対する薬物療法。

カドミウム：Cadmium 青白色の物質で特に金属の表面保護に用いられる。

危険因子：Risk factor がん等の病気にかかる確率を上げるもの。
例えば、肺がんの重要な危険因子は喫煙。前立腺がんの危険因子は65歳以上の年齢。

精子：Sperm 男性生殖器でつくられる細胞で、一般に精液の中を遊泳しており、卵子と結合することによって新しい生命を生み出すことができる。

腺：Gland からだの外あるいは血液の中に排出する液体をつくる臓器。

前立腺：Prostate 男性の膀胱底部に位置する臓器。

超音波：Ultrasound 高周波の音波を用いてからだの深部にある腫瘍の位置を確認する。超音波検査法ともいう。

直腸診：Rectal Exam 医師によって直腸から前立腺を触診する診察方法。

尿道：Urethra 膀胱から尿を運ぶ管。（図.2参照）

バイオプシー・生検：Biopsy がん細胞の有無を診断するために、外科的に採取した小さな組織片を顕微鏡で見て検査すること。バイオプシーは、がんの診断において最も重要な手技である。

膀胱：Bladder 人間や動物の体内にある袋状の臓器で、尿を排出する尿道の上部にあって尿をためる役割を果たす。

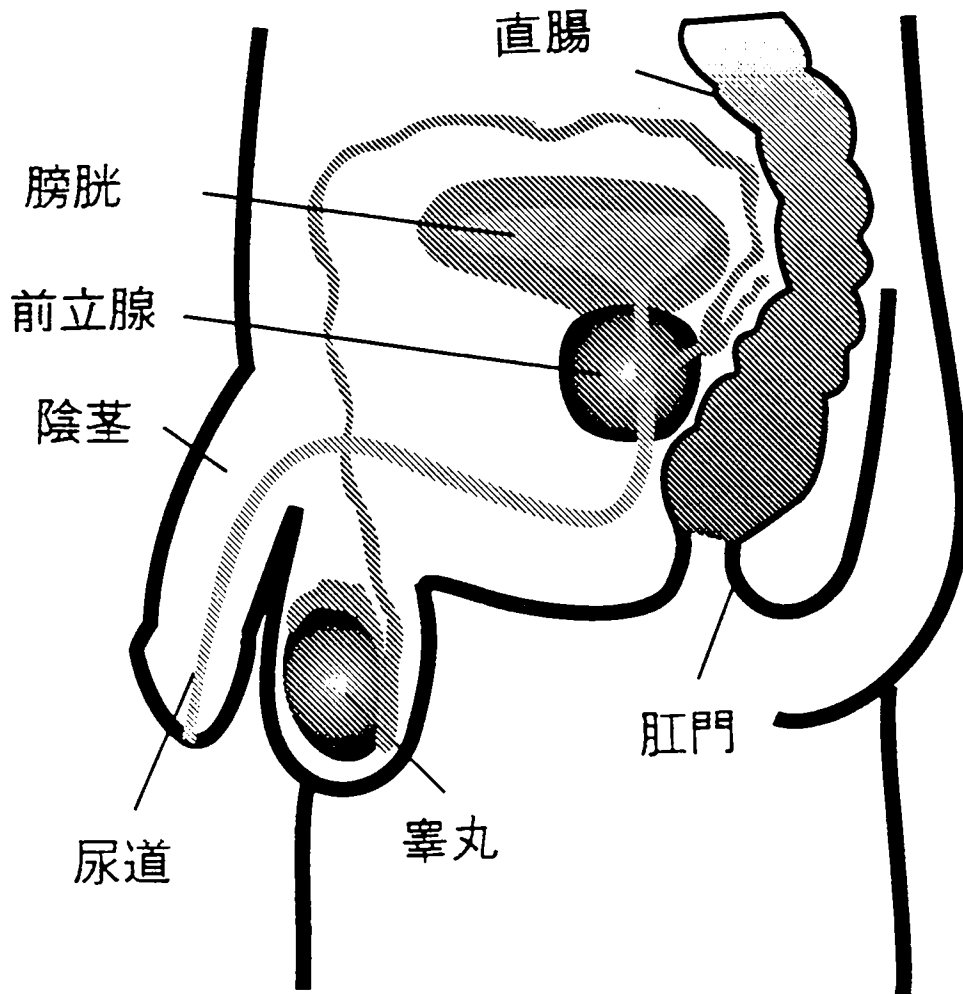


圖. 2

Original Text by:

Niccu Tafarrodi, Ph.D.
Donald Whipple Fox

Original Text Edited by:

Cesar Ercole, M.D.
*Assistant Professor
University of Minnesota*
David V. Taylor, Ph.D.
*Dean of the General College
University of Minnesota*

Illustrations by:

Nickdokht Torkzadeh
Nickdokht is a native of Tehran, Iran. She is a Graphic Designer at the University of Minnesota where she earned her MA from the School of Architecture. Her field of work is design, layout and graphics for print and interactive media.

Translated & Edited by:

Keiko Nakajima, M.D.
Keiko is a native of Japan. She is an oncologist who interned at the Hennepin County Medical Center. She is fluent in both Japanese and English.

This booklet was created in partnership
with the American Cancer Society.

